

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社スカパーJSAT ホールディングス（証券コード:9412）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) 衛星による通信サービスや有料多チャンネル放送（スカパー！）を運営するスカパーJSAT グループの持株会社。宇宙事業はアジア最大の衛星通信サービスを提供し、主要顧客は大手通信会社や官公庁である。メディア事業の柱である「スカパー！」の累計加入件数は 292 万件（22 年 9 月末）と、有料多チャンネル業界で確固とした事業基盤を構築している。当社グループには強い経営の一体性が認められることから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 収益は安定している。メディア事業では、引き続き「スカパー！」の累計加入件数の減少に留意は必要であるが、宇宙事業の収益基盤は堅く、当社業績を下支えしている。19/3 期および 20/3 期に打ち上げた衛星 3 機によって基礎収益力が向上しており、当面の業績は堅調に推移する見通し。財務内容は良好な水準にあり、今後も現状程度の財務構成が維持されるとみている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 23/3 期は営業収益 1,200 億円（前期比 0.3%増）、営業利益 210 億円（同 11.3%増）を計画している。メディア事業の累計加入件数の減少が収益を下押ししているが、宇宙事業において上述の衛星 3 機の稼働拡大による寄与が見込まれ、増益となる見通し。今後の成長に向けて、メディア事業では動画配信事業の強化やメディア HUB クラウドなどの B2B 事業の展開、宇宙事業では低軌道衛星を活用した光データ中継や、NTT と協業で行う宇宙データセンタの構築など、新領域での事業確立に取り組んでいる。利益寄与には相応の時間を要するとみられるが、中長期的に収益力が底上げされるか注目していく。
- (4) 22 年 6 月末の自己資本比率は 63.6%（22/3 期末 64.0%）であるなど財務内容は良好である。当社は 23/3 期から 5 年間で基礎収益力向上のための投資期間と位置付けており、宇宙事業およびメディア事業合計で 2,000 億円規模の投資を計画している。ただし、一定の財務規律を維持した上で投資を行う方針であることや、当社のキャッシュフロー創出力の高さを踏まえれば、財務健全性が損なわれる懸念は小さいと考えている。

（担当）千種 裕之・石崎 美瑛

■格付対象

発行体：株式会社スカパーJSAT ホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 4 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 6 月 18 日	2025 年 6 月 18 日	0.927%	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年10月25日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：千種 裕之
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社スカパーJSATホールディングス
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル